

大村警察署協議会第4回会議議事概要

日 時	令和元年10月25日(金) 13時30分～15時15分
場 所	大村警察署訓授室
出 席 者	<p>1 協議会 西畑会長 伊藤委員 瀬戸口委員 中牟田委員 村川委員</p> <p>2 警察署 小松署長 松永副署長 富永警務課長 新田生活安全課長 山中交通課長 野田地域課長 平野刑事課長 中尾警備課長</p> <p>3 書記 警備第二係長 警務課員</p>
会議の状況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会の提出意見である「夏休み期間中における青少年の非行防止及び水難事故防止啓発活動」に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 夏休み期間中における青少年の非行防止活動</p> <p>ア ボランティア団体と連携した街頭補導活動等の推進 大村市少年補導員等と連携し、祭り会場やコンビニ等少年がい集する可能性のある場所において街頭補導活動等を実施し、7月20日から8月末までの期間中に少年10人（前年同期比 -38人）を補導した。</p> <p>イ 学校との情報共有、各種会議への出席 夏休み期間中に各中学校を訪問して情報共有を実施し、また大村市要保護児童対策地域協議会に出席し、管内の非行状況等について情報共有を行い、各協議会等と連携を強化した。 また、大村市少年補導員と共に7月27日に開催された長崎県少年補導員大会等に出席し、県下の少年非行概況等の情報共有を行い、県下の少年補導員との連携を強化し教養を深めた。</p> <p>ウ 少年非行防止啓発活動の推進 当署において少年非行防止啓発ポスターを作成し、少年がい集するゲームセンターや飲食店等に赴きポスターを掲示してもらい、同店員に対して少年の非行行為等があれば通報を依頼した。 また、夏祭り等イベント会場においても、薬物乱用防止チラシ等を配布するなどして、少年非行防止を呼びかけた。</p> <p>(2) 水難事故防止啓発活動について</p> <p>ア 広報活動 夏休み期間中、青少年の水難事故防止のため、夏休み期間中に開催される学童保育において、水難事故に遭わないための指導を行うとともに、ミニ広報誌等により水難事故防止の広報を</p>

行った。

さらに、河川や特に河川で遊ぶことが多いキャンプ場の警戒を強化し、河川での水難事故防止を図った。

イ その他

上記以外の施策として、大村市内に点在する沼、ため池等の調査を行い、警戒を実施した。

2 令和元年7月から9月までの業務重点推進結果について各課長から、次のとおり説明があった。

(1) 生活安全課関係

夏休み期間及び夏休み明けにおける少年の非行防止・犯罪被害防止対策の推進

(2) 地域課関係

ア 雑踏事故の防止

イ 夏期における水難・山岳事故の防止

(3) 刑事課関係

ア 各種犯罪の検挙推進

イ 暴力団排除活動の推進

(4) 交通課関係

ア 通学路における安全対策の推進

イ 自転車に関連する交通事故防止対策の推進

ウ 高齢者が関係する交通事故抑止対策の推進

エ 飲酒運転根絶対策

(5) 警備課関係

ア テロ対策の推進

イ 大規模自然災害等緊急事態への的確な対応

3 業務重点推進計画について

各課長から、次のとおり説明があった。

(1) 生活安全課関係

ア 狩猟期間に伴う指導取締り及び事故防止対策の推進

イ 年末における特別警戒の実施

(2) 地域課関係

ア 職務質問による各種犯罪検挙向上

イ 初詣に伴う雑踏警備

(3) 刑事課関係

ア 各種犯罪の検挙推進

イ 暴力団排除活動の推進

(4) 交通課関係

ア 自転車に関連する交通事故抑止対策の推進

イ 高齢者が関係する交通事故抑止対策の推進

ウ 悪質・危険な飲酒運転などの交通違反取締りの強化

(5) 警備課関係

ア テロ対策の推進

イ 大規模自然災害等緊急事態への迅速かつ的確な対処

4 諮問テーマに対する答申について

署長から、協議会に対して諮問があり、協議会から次のとおり答

	<p>申があった。</p> <p>(1) 諮問テーマ 子供や女性を守る安全対策の推進について</p> <p>(2) 協議会からの答申 西畑会長から協議会委員に対し、次のとおり署長への答申内容について確認があり、全会一致で了承された。</p> <p>ア SNSを通じて子供が犯罪の被害に遭っているが、子供自身が事件に巻き込まれている自覚がないので被害が増えていることから何か起こったときに、子供が相談できる場所や施設の周知が必要ではないか。</p> <p>イ 人口の増加に対して、日暮れ時は薄暗くなる場所も多いので、警察による声掛けなど、パトロールの強化ができないか。</p> <p>ウ 女性警察官の数を増やせないか。声掛け注意をする際にも、女性警察官ができればいいのでは。</p> <p>エ 他機関と連携して児童虐待の現場へ乗り込む訓練をやっているが、「どこにでも駆けつける」という抑止力として、県内いろいろな所でやってほしい。</p> <p>オ アイドルがSNSに投稿した写真から、住所を割り出され、押しかけられる事件も発生した。子供に対するスマートフォンの適切な使い方や、危険性のレクチャーをしたほうがよいのでは、家庭でできないこともある。</p> <p>5 諮問テーマの設定について 署長から、協議会に対して次のとおり諮問テーマが設定され、次回会議において答申されることとなった。</p> <p>(1) 諮問テーマ 高齢者が加害者、被害者になる交通事故の抑止対策について</p> <p>(2) 設定理由 全国的に、高齢者が加害者や被害者となる痛ましい交通事故が多発しているが、今後、大村市における高齢者が関係する事故を抑止するための方策を推進していく必要があるため</p>
提出意見	<p>○ 年末年始の飲酒運転に対する運転者への意識改革について 先日、大村市の教職員が飲酒運転で逮捕されるという事件があったことから、飲酒機会の増加する年末年始を前に取締りを強化するとともに、飲酒運転防止の有効な取組や飲酒運転の危険性を伝えるなど、運転者に対する意識改革を図ってほしい。</p>